サービス等利用計画・障害児支援利用計画(案)

氏名	白石　太朗	障害程度区分	3	相談支援事業者名	相談室　クリエイト
障害福祉サービス受給者証番号	123456789	利用者負担上限額	無し	計画作成担当者	平和　通
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号		計画作成日	20xx/3/15

利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活）	白石　太朗さんは専門学校卒業後、アルバイトを行うが、中々長続きせず、離転職を繰り返していました。その後、引きこもるようになり、精神科を受診し「広汎性発達障害」の診断を受けました。最初は通院も安定しませんでしたが、1年半くらい前から安定して通院できるようになりました。そのころから、「3年後くらいには一般就職をしたい」「働いて自立した生活をしたい」という希望がでてきましたが、「朝起きる自信がない」「働く自信がない」ので、そのためにグループホームの利用と就労継続支援B型事業所の利用の希望をしています。	総合的な援助方針
わたしの大きな目標（長期目標）	①グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活をしていく上での力をつける。 ②就労継続支援B型事業所では、仕事をしていくうえでの自信をつける ③自分から質問できるようになる。	グループホームと就労継続支援B型事業所にて、仕事と生活に関するさまざな経験をすることで、自分自身の強みや特性を知る。さらに、本人の将来働いて一人暮らしをしたいという希望が実現できるよう支援をする。
わたしの短期目標	①グループホームの生活に慣れる。 ②就労継続支援B型事業所に慣れる。 ③自分から話しかける。	

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	福祉サービス等		達成時期	評価時期	課題解決のための本人の役割
			種類・内容・量（頻度・時間）	留意事項			
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	グループホーム　　毎日	朝中々起きれない	1年	3か月	スケジュールを覚えて生活リズムを身に着ける。 　掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。
2	今は働くことに自信が無いので、そのための力をつけたい。	色々な作業経験を積んで得意なことを見つける	就労継続支援B型事業所　月～金	朝中々起きれない	1年	3か月	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やす。
3	自分から質問ができるようになりたい	自分から話しかけることができるようになる	グループホーム　　毎日 就労継続支援B型事業所　月～金 相談支援事業所　随時 病院　4週間に1回　　土曜日		6か月	1か月	グループホームで一日の出来事を報告する。 　仕事については、就労継続支援事業所で相談する。 　服薬をして定期的に通院する。
3							